

## 高の原駅前広場公共空間活用に向けた民間事業者選定支援アドバイザー業務に関する質問書への回答

	質問項目	質問内容	回答
1	事業者選定審査表 No.6	「関係者・地域との調整や合意形成」とありますが、地域が指す団体等を 具体的にご教示ください。	<p>現在高の原駅前広場整備工事の実施設計について、地域住民・民間事業者・3市町（奈良市、木津川市、精華町）で構成する「高の原駅前広場再整備プロジェクトチーム会議」と連携し進めており、実施設計完了後は当会議をエリアプラットフォームとして移行することを想定しています。（令和7年夏頃以降）エリアプラットフォームには、高の原エリアに隣接する8つの住区（※1）の代表者（※2）や近隣民間事業者に参画いただく予定であることから、当エリアプラットフォームが合意形成を図る「地域」の一つであると考えます。</p> <p>さらに事業内容を検討していく中で、必要に応じて、高の原エリア内に住む方、まちづくり活動を行う方、事業者、学校等と合意形成を図る相手方は広がっていくことも想定しています。</p> <p>※1 奈良市／神功、右京、朱雀、左京、佐保台 木津川市／兜台、相楽台 精華町／桜が丘</p> <p>※2 プロジェクトチーム会議立ち上げの際に、参画メンバーを各住区から2人程度募集。地区自治連合会会長や自治連合会から推薦された方、高の原エリアの公共空間を活用したイベントを行うまちづくりプレイヤーが参画。</p>

2	事業者選定審査表 No.6	<p>これまでに実施された地域との合意形成に係る取組の経過、及び熟度についてご教授ください。また、過去の合意形成に係る資料等があればご提供ください</p>	<p>本市が高の原第一自転車駐車場跡地（以下、「跡地」という。）を民間事業者による活用を目指していることについては、地域住民や民間事業者が主体的に参画した「高の原駅前広場再整備プロジェクトチーム会議」（令和5年12月から令和7年6月までで13回の会議を実施）にて共有しています。跡地活用については、令和6年6月実施の第7回会議で説明しました。この跡地活用は、高の原エリアの目指すまちの将来像「高の原で育った人が 帰ってきたくなる 高の原らしいまち」及び高の原駅前広場のリニューアルコンセプト「住区の境を越えて、知人・友人・仲間の“つながり”をつくれる」公共空間の実現に向けてのものであることは一定理解をいただいていると考えます。</p> <p>併せて、令和6年8月から9月には、奈良市の神功、朱雀、右京の各地区自治連合会単位で高の原駅前広場リニューアル内容についての住民説明会を実施し、その中でも跡地活用について説明しました。左京、佐保台については台風接近により対面での説明会は実施せず、資料回覧で周知を図りました。木津川市の兜台、相楽台、精華町の桜が丘は地域での回覧等により、跡地活用を含めた高の原駅前広場リニューアル内容について周知を図りました。</p> <p>（ホームページに掲載している参考資料「04_高の原エリア住民説明会配付資料」参照）</p> <p>跡地の民間事業者による活用は、当業務をもって具体化していくものですので、地域との合意形成も当業務により開始していくものと考えています。</p>
---	------------------	---	---

3	事業者選定審査表 No.6	本業務で実施する「合意形成」に係る取組について、どのような開催形式や回数をお見込みかについてご教授ください	ご質問内容は、ご提案内容に含まれるものと考えています。
---	------------------	---	-----------------------------